

厚生労働科学研究費補助金

医療安全・医療技術評価総合研究事業

医師・歯科医師数等の将来予測に関する研究

平成18年度 総括研究報告書

主任研究者 長瀬 啓介

平成19（2007）年 3月

目 次

I. 総括研究報告

医師・歯科医師数等の将来予測に関する研究 長瀬 啓介	-----	1
-------------------------------	-------	---

II. 研究成果の刊行に関する一覧表	-----	4
--------------------	-------	---

III. 研究成果の刊行物・別刷	-----	該当なし
------------------	-------	------

総括研究報告書

医師・歯科医師等の将来予測に関する研究

主任研究者 長瀬 啓介 京都大学医学部附属病院医療情報部 助教授

研究要旨

医師・歯科医師・薬剤師調査調査票データを利用し、各職種の業務の種別・診療科の別・性別・年齢別・地域別の分布を推計するモデルの作成を行うための、調査票データの入手およびデータのクリーニングを行い、平成14年・平成16年医師調査データをサンプルとして、名寄せの精度の検討を行った。

A. 研究目的

医師・歯科医師・薬剤師調査の調査票に基づき、将来の一時点において活動する医師・歯科医師・薬剤師の業務の種別・診療科別・性別・年齢別・地域別の分布を推計するモデルを作成するとともに、そのモデルによって推計を行う。

B. 研究方法

医師・歯科医師・薬剤師調査の調査票を利用し、(1)診療科別・性別・年齢別（1歳区分）の人数を算出し、(2)同区分での増減率を算出し、(3)(1)を初期値とし(2)により所要年数分積分する。

（倫理面への配慮）

分析結果の公表にあたっては、個人が特定できないように、配慮する。

C. 研究結果

医師・歯科医師・薬剤師調査の調査票の使用の承認を平成19年2月14日付で取得し、同日以降データの提供が開始され、3月13日までに個票データを受領した。

データの受領を開始して以降、データ内容の検証および不明点の紹介、DBMSへのロードおよび各種コードの解析を行っている。

平成16年および平成14年それぞれの医師・歯科医師・薬剤師調査の医師調査票について、精度を検討した結果、平成16年調査票270371件中、医籍登録番号不明が18件、平成14年調査で回答した者が239841件、H16年調査のみで回答した者が30512件であった。これは、平

成16年調査における回答者の11.8%にのぼる。このH16年調査のみで回答した者のうち、H15年に医籍登録されたものは7313件、H16年に医籍登録されたものは7063件、平成14年以前に登録されたものが16136件であった。

D. 考察

医師・歯科医師・薬剤師調査の調査票において、継続的に届出がされていない事例があり、また医籍登録番号が不明である事例が少なからず存在した。

医師・歯科医師・薬剤師調査の調査票を用いて、将来の一時点において活動する医師・歯科医師・薬剤師の数を推計するため、調査票データをデータベース化し、調査の精度の検討をおこなった。平成19年度も引き続き、精度の検討を継続するとともに、推計モデルの作成と推計の実行をする。

E. 結論

平成16年および平成14年の医師調査票において、単年度のみ調査票を提出する医師が11.8%にのぼった。また、医籍登録番号不詳の調査票が18件みられた。

平成19年度の研究において、医師・歯科医師・薬剤師調査の調査票データの精度がどの程度推計に影響を与えるかを、さらに評価する必要があると考えられた。

F. 研究発表

1. 論文発表

本年度該当なし

2. 学会発表

本年度該当なし

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし

厚生労働科学研究費補助金分担研究報告書
該当なし
(研究分担はおこなわなかった。)

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
	本年度 該当なし						

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
	本年度 該当なし				